

データ利活用型スマートシティ推進事業概要

各都市・地域の課題解決を促進するため、関係府省で構築するアーキテクチャに基づく都市OSを実装したオープンなプラットフォーム上で、観光、防災等複数の分野でデータを利活用してサービスを提供するデータ利活用型スマートシティの構築を関係府省と一体となって推進する。



- 補助対象:地方公共団体等
- 補助率:1/2以内
- 平成29年度から開始
- 予算額:5.1億円の内数(平成29年度)
2.5億円(平成30年度)
2.2億円(令和元年度)
2.2億円(令和2年度)

国内の事例:

○札幌市(分野:観光、交通、健康)
人流情報と購買情報を活用したマーケティング、走行情報を活用した除排雪最適化、行動情報から健康増進情報のpush配信等を実施。

○高松市(分野:防災、観光)
水位情報の可視化による行政の災害対応の効率化、動態データの活用による観光マーケティング等を実施